# 2023年度 シラバス(授業内容)

昼間部2年 観光科 トラベルコース

#### 1.シラバスとは

シラバスは、授業の内容を予め受講者に知らせるもので、到達目標・使用教材・単位数等が記載されています。 当校の教育理念は「ホスピタリティマインド豊かな社会人の育成」です。ホスピタリティとはお客様をおもてなしする こと、心配り・気配り・思いやりを意味します。相手の立場に立って考え、行動できる人間を育成することを念頭にカ リキュラム編成をしています。同時に卒業後、即戦力として活躍できるよう専門分野においても基礎・応用からの実 践教育を取り入れたカリキュラムとなっています。

#### 2.科目編成(カリキュラム)の概要

科目編成は、共通科目と専門科目です。

全科目が必修科目となり、卒業にはすべての単位取得が必要です。

- (1) 共通科目: 人間力を高めること、職業人として必要なビジネス教養を身に付ける科目構成です。
- (2)専門科目:各科各コースの専門分野に即した科目構成です。



# 2023年度 昼間部2年 観光科トラベルコース

進級·卒業基準単位

		1	年	2	年	卒業
		前期	後期	前期	後期	基準単位
必	共通必修	7	8	6	6	27
修	専門必修	17	22	22	17	78
	合 計	24	30	28	23	105

各期全単位を取得すること。

#### 履修科目•単位一覧

#### 実務経験のある教員による科目

		1年前其	A			1年後	期			2年前其	Я			2年後其	Я		
		科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数
		ホスピタリティ [	演	1	15	ホスピタリティ 🛚	演	1	15	卒業研究 I	講	2	30	卒業研究Ⅱ	講	2	30
		キャリアデザイン I	演	2	30	キャリアデザイン Ⅱ	演	5	75	キャリアデザインⅢ	講	1	15				
		ビジネスコミュニケーション [	講·演	1	15					ビジネスコミュニケーション Ⅱ	講	1	15	ビジネスコミュニケーションⅢ	講	1	15
	共	就職筆記対策 I	講	1	15	就職筆記対策Ⅱ	講	1	15	脳力開発 I	演	1	15	脳力開発Ⅱ	演	- 1	15
	通科	Let's Speak English I	演	1	15	Let's Speak English <b>II</b>	演	1	15	Let's Speak English <b>Ⅲ</b>	演	1	15	Let's Speak English <b>IV</b>	演	1	15
	科目	パソコン	演	1	15									国際交流	演	1	15
		小計		7	105	小計		8	120	小計		6	90	小計		6	90
		旅行業法	講	3	45	アマデウス	技	1	30	パソコンスキル I	演	1	30	パソコンスキルⅡ	演	1	30
		旅行業約款	講	3	45	就職対策 I	講	3	45	就職対策Ⅱ	演	2	30	社会人準備講座	演	1	30
		国内旅行地理 I	講	1	30	Web入門 I	演	1	30	Web入門 II	演	1	30	Web入門Ⅲ	演	1	30
		国内旅行地理Ⅱ	講	1	30	国内観光資源 [	講	2	30	国内観光資源Ⅱ	講	2	30	国内観光資源Ⅲ	講	2	30
必		国内旅行地理Ⅲ	講	1	30	海外観光資源 [	講	2	30	海外観光資源 Ⅱ	講	2	30	海外観光資源Ⅲ	講	2	30
修科目		各種運送約款•料金	講	1	15	硬筆•書写検定対策	講	1	15	添乗実務 I	演	2	30	添乗実務Ⅱ	演	2	30
目		時刻表実務I	講	1	30	時刻表実務Ⅱ	講	1	30	旅行英語I	講	1	15	旅行英語Ⅱ	講	- 1	15
		鉄道運賃・料金	講	3	45	Travel English I	演	1	15	Travel English II	演	1	15	Travel English <b>Ⅲ</b>	演	1	15
		国内管理者対策Ⅰ	講	2	30	国内管理者対策Ⅱ	講	4	60	English communication I	演	1	15	English communication II	演	1	15
	専門	観光業界ガイド	講	1	20	観光実務I	講·演	3	l	観光実務Ⅱ	講	3	45	観光実務Ⅲ	講	2	30
	科					観光プランニング I	演	2		観光プランニングⅡ	演	2	35	観光プランニングⅢ	演	2	30
	目					Web筆記対策	講	1	15	接客手話I	演	1	15	接客手話Ⅱ	演	- 1	15
										プレゼン技法	演	1	15				
										海外旅行実務	講	2	30				
		小計	l	17	320	小計	1	22	375	小計	l	22	365	小計	l	17	300
	-	1年前期 計		24	425	1年後期 計		30	495	2年前期 計		28	455	2年後期 計		23	390
1	H				計			54	920				計			51	845
									合計							105	1765

	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
	スタートアップセミナー	就職ガイダンス	スポーツ大会	中村学園祭
	スポーツ大会	中村学園祭		
行		就職交流プラザ		
事		カミングホームプラザ		

# 共通科目

科目名	卒業研究Ⅰ・Ⅱ			科目区分	共通科目				
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	講義				
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期 : 2 単位 後期 : 2 単位	時間数	前期 : 30 時間 後期 : 30 時間				
	各ゼミ講師			•					
担当	実務経験:有・無								
授業概要	この科目は、自身の興味ある分野を広く調査研究し深く考察することを目的とする。 観光関連の中から自らがテーマを決め、主体的に調査・研究を行い、考察を入れてレポートを作成する。今まで学校で学び得た知識や経験、図書館やパソコン、見識者、実地踏査などの手段により情報を集め研究する。講師からの助言・指導を受けながら卒業までにレポートをまとめる。また、研究成果の報告としてプレゼンテーションを行う。また、ゼミ内で優秀な作品を選出し、全体でのプレゼンを行う。 なお、卒業研究レポートの中で秀逸なレポートについては、卒業時に「卒業研究レポート優秀賞」として表彰する。								
到達目標	①自身の調査した内容をレポート ②プレゼンテーションの作成及び		ける。						
検定資格	なし・必修・任意 名称:								
教科書 教材	なし(適宜必要なプリントをゼミ担	当者より配布)							
授業計画	【進め方】 ・卒業研究とは ・テーマの決め方 ・レポート作成における調査研究】 ・調査研究】 ・調査計画の作成 ・調査計画の作成 ・調査研究の進捗に合わせた個別 ・実施内容の確認 【レポートのまとめ】 ・レポート構成(序論、章、まとめ)・レポート内容(目的、方法、結果、・文献資料を参考し作成する 【発表】 ・パワーポイントの作成 ・サマリーの作成 ・台本の作成 ・プレゼンテーション練習と本番で	· 考察)							
成績評価 方法	<ul><li>・平常点は授業取組姿勢、研究意</li><li>・以下の提出物は全て提出するこ 【提出物】前期:序論 後期:レポ</li></ul>	欲等を考慮する と。							
成績評価 基準	A: 出席率 90%以上、平常点 優B: 出席率 80%以上、平常点 良C: 出席率 60%以上、平常点 可D: 出席率 60%未満、平常点 不	Į							

学生への	_	,	1.	• •
マエへん	77	***	+7.	_~`
~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~	"	<i></i>	Ŀ	_

科目名	キャリアデザインⅢ			科目区分	共通科目					
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	講義					
実施期	2年 前期	単位数	前期 : 1 単位	時間数	前期 : 15 時間					
	就職担当									
担当	実務経験: 有・無									
授業概要	1 年次とは変わり、就活情報の共有を主とした授業となります。 就活は各自の目指す業界、企業により開始時期や進行状況が異なりますので、個々の進行に応じ 個別にバックアップし内定に向けサポート致します。また、内定者については自身も含めた就活情報の整理や入 社に向けたビジネスマナーの習得をフォローしていきます。 後期には内定者を対象に就職交流プラザもあります。後輩への指導や自分達の学校、学科を誇りと 出来るように積極的に自分の出来る事を考え、行動する時間としましょう。									
到達目標	1、内定及び進路決定を得ること。 2、社会人としての最低知識を有し 3、自身の就職活動をまとめ、後輩									
検定資格	なし・ 必修 ・ 任意 名称:									
教科書 教材	CAREER ADVICE TEXT(インテリシ	ジェンス)								
授業計画	【就職活動実践】 就活サイトを利用した就活、企業研 自己 PR・志望動機作成、履歴書・E 小論文演習、SPI 対策と模擬試験が 【内定後】 お礼状作成、内定報告書類作成、就 【ビジネスコミュニケーション】 ビジネスメール作成、受付と接遇対 ビジネスセールストーク術、時事間	S 作成、面接派 寅習、企業講演 就活資料の整理 対応、名刺交換	複習、GP ワーク演習、 里 、ビジネスルールの理解	•						
成績評価方法	期末試験の得点ならびに出席率か 授業態度、提出物などが評価基準		す。平常点は就職活動(近	進路活動)の取り組	む姿勢、					
成績評価 基準	A:評価試験 85 点以上 かつ 出原 B:評価試験 65 点以上 かつ 出席 C:評価試験 40 点以上 かつ 出席 D:評価試験 40 点未満、出席率 60	席率 80%以上、 <b></b> 客率 60%以上、	平常点良 平常点可							

#### 学生へのメッセージ

	Γ				1	T .				
科目名	ビジネスコミュニケーショ	₃ンⅡ·Ⅲ			科目区分	共通科目				
対象	昼間部全学科全コース			T	授業形式	講義				
実施期	2年 前期・後期		単位数	前期 : 1 単位 後期 : 1 単位	時間数	前期 : 15 時間 後期 : 15 時間				
	井部·須田·橋本									
担当	実務経験 : 有・無									
授業概要	目的:観光・ブライダル業界人としてふさわしいビジネスマナーや必要知識を身に付けること。 概要:1 年次習得した基本のビジネスマナーを基にロールプレイを交えた発展的な内容を学ぶ。 また、一般常識や必要知識を学習する。									
到達目標	卒業後、新社会人として必要なビジネスマナーに関する知識を得ること。また、体現できること。									
検定資格	なし・必修・任意	名称:	秘書技能検定	・ビジネス能力検定ジ	ョブパス					
教科 <del>書</del> 教材	秘書検定合格教本2・3級 新星出版社 (1年次購入済み)									
授業計画	【接遇】 ・アポイントから訪問・来訪マナー、名刺交換 ・電話応対 ・上座、下座  【一般常識】 ・ビジネス文書(基本文書体裁とルール、宛名書き) ・ビジネスメール ・ビジネス用語  【知識】 ・年金、税、保険 ・組織(役職)と部門 ・慶弔 ・その他社会人として必要な知識									
成績評価 方法	評価試験には期末試験の	の他、演習語		 トを含みます。	_					
成績評価 基準	A:評価試験 80 点以上、出席率 85%以上、平常点優 B:評価試験 70 点以上、出席率 70%以上、平常点良 C:評価試験 50 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D:評価試験 50 点未満、出席率 60%未満、平常点不可									

*** '	_	,		• •
学生へ	n	***	<del>1</del> フー	_` <i>'</i>
<b>一</b> 上 `	v	ノ・ノ	Ŀ	_

科目名	脳力開発Ⅰ・Ⅱ					科目区分	共通科目			
対象	昼間部全学科全コース					授業形式	演習			
実施期	2年 前期・後期	単	鱼位数	前期 : 1 i   後期 : 1 i		時間数	前期 : 15 時間 後期 : 15 時間			
	住友 大我									
担当	実務経験 : 有・無 トレーナー業、近年はトレーナー育成業を中心に 15 年以上の実務経験があります。									
授業概要	心身ともに健康な状態で、社会人として長く活躍できるよう、メンタルトレーニングを中心とした脳の働き(脳力)を 高める方法を学びます。									
到達目標	緊張からリラックス集中への反射を形成して、いつでも能力を発揮できるようになる。また、ストレスに対処する、 ストレスを成長につなげる、モチベーションを高める、発想力を高めるなどの内容を、脳の働きをもとに理解する。									
検定資格	なし・ 必修・ 任意	名称: メンタ	ルウェル	ネストレーニ	ング基礎課程					
教科書 教材	授業用教材セット									
授業計画	・メンタルトレーニング 思い方の練習(期待感と満足感を高める) 段階的リラクセーション法(緊張からリラックスへの反射形成) 自律訓練法(リラックスした集中への反射形成)      ・ビジョントレーニング 情報処理能力の向上(脳活ドリル、他) 視覚思考力、論理思考力の向上      ・脳力を発揮するための生活習慣 睡眠に関連する内容(疲労回復、記憶力、発想力との関連など) 運動、食事に関連する内容など      ・その他 自己分析(エゴグラム) メンタルヘルスに関連する内容(ストレスマネジメント、他) 能力発揮に関連する内容(目標設定、モチベーション、他)									
成績評価 方法	試験、出席率、平常点(打 詳細は、各期の初回授業		[など)の	組み合わせて	で評価します。					
成績評価 基準	【試験】A:80 点/%以上、B:70 点/%以上、C:50 点/%以上、D:50 点/%未満 【出席率】A:100%、B:80%以上、C:60%以上、D:60%未満 【平常点】A:優、B:良、C:可、D:不可									

#### 学生へのメッセージ

後期の授業内でメンタルトレーニングの検定試験を実施する予定です。 合格した場合は、保有資格としてプロフィールなどに記載することが出来ます。 なお、受検料は発生しません。

科目名	Let's Speak English Ⅲ • Ⅳ			科目区分	共通科目					
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	演習					
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期 : 1 単位 後期 : 1 単位	時間数	前期 : 15 時間 後期 : 15 時間					
	語学担当講師		1 2 22	,						
担当	実務経験: 有・無									
授業概要	「英語で外国人と会話が出来たら」ちょっとしたスキルとちょっとした勇気で、それは誰にでも実現可能なことです。シンプルなキーセンテンスを応用して使えるように、会話、リスニング、アクティビティを通して練習していきます。クラスはレベル別に分かれますが、どのクラスも授業は出来る限り English Only で進めます。									
到達目標	日常的な話題について、シンプルな英語でコミュニケーションをとることが出来る。 異なる国や文化の人々と積極的にコミュニケーションを図ろうとすることが出来る。									
検定資格	なし・必修・任意 名称:									
教科書 教材	Speak Now Level 1 Student Book (Oxford)(1 年次購入済み)									
授業計画	[My Hometown] Asking about & describing places, asking for & giving suggestions, asking for & giving directions.  [Shopping] Prices & features, bargaining, frequency  [Food] Quantities, needs, eating habits, describing food  [Past & Future] Talking & asking about past events, introducing & reacting to news, future plans									
成績評価 方法	下記評価基準に基づく									
成績評価 基準	A:評価試験(理解度)80%以上、出B:評価試験(理解度)60%以上、出C:評価試験(理解度)50%以上、出D:評価試験(理解度)50%未満、出	は席率 80%以_ は席率 60%以_	L、平常点良 L、平常点可							

#### 学生へのメッセージ

Don't be shy! Do your best!

					1
科目名	国際交流			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース		1	授業形式	演習
実施期	2年後期	単位数	後期 : 1 単位	時間数	後期 : 15 時間
	各担当講師				
担当	実務経験:有・無				
授業概要	コロナ禍により一時的に滞ってい 籍の方たちと接し、共に暮らし、 海外へ発信する取り組みをします。 らうことを想定しています。	共に働くこと	になるでしょう。この種	料目は、日本の「	文化」や「習慣」を
	①外国人旅行者、移住者、働く仲	間として交流	のできる人材となる。		
조마추 다 뉴프	②海外の方に伝えたい「日本事情」	」をパワーホ	パイントや動画で表現する	る。社会に出た際	※に表現の組み立て、
到達目標	立案を行える事を目標とする。				
	③日本の「文化」「習慣」を自ら調	査・発信し、	接客に生かせる姿勢を	·身につける。	
検定資格	なし・必修・任意 名称:			-	
教科書 教材	なし(適宜必要な資料、プリント等を	配布)			
	【日本の観光地調査】				
	個人ワーク				
	インバウンドに向けた観光誘致場	所を調べて発	表する。		
	【日本文化の動画作成】				
	グループワーク				
	チームに分かれてテーマを選び、	徹底的に調査	し(実地調査含む)、ま	とめる。	
授業計画					
	【発表・評価】				
	授業内での発表に加え、優秀作品	  + CNC   ⊢1 − <del>t</del> E	獣する		
	IX木川(V)元以に加え、 変万  Fm	& UNU ⊥  <b>-</b> ]1€	J年A ブ つ。		
+4===/==	•授業取組姿勢				
成績評価 方法	• 発表内容				
刀法	・国際交流への意欲				
	A: 出席率 90%以上、平常点 優				
成績評価	B: 出席率 80%以上、平常点 良				
基準	C: 出席率 60%以上、平常点 可				
	D: 出席率 60%未満、平常点 不可	Г			

学生へのメッセーン			

# トラベルコース 専門科目

フグ (八) (大川 日)									
科目名	パソコンスキル Ⅰ・Ⅱ					科目区分	専門科目		
対象	観光科トラベルコース					授業形式	演習		
実施期	2年 前期・後期		単位数		1 単位 1 単位	時間数	前期 : 30 時間 後期 : 30 時間		
	宮﨑 愛子					•	•		
担当	実務経験: 有・無 パソコンスクールにてインストラクターとして実務経験あり								
授業概要	1 年時の学習を踏まえて実践力を修得しましょう。Word では様々な書式設定を使ったビジネス文書作成、Excel では基本関数およびグラフによるデータの視覚化、データ分析力をマスターすることが目標です。また、PowerPointでは、分かり易く効果的な資料作成を行い、実際にプレゼンテーションに挑戦します。								
到達目標	PC操作の基本を理解しまた、昨今頻繁に利用さ スプレッドシート等の We	れるようにな	こったクラウト	ベストレー	ジサービスや	。、オンラインミーティ	ィングサービス、Google		
検定資格	なし・必修・任意						髪処理技能認定試験 ション技能認定試験		
教科書 教材	・「 30 時間アカデミックト	青報リテラシー	Office201	6 」(実	数出版)				
授業計画	【 PC 基本操作の確認・アプリケーションの立ち・キーボードを利用しただ・ホームポジションを意記 【 Word 基本作業 】・文章入力(へ、図基本作業 】・ビジネス 文書の基礎をは・ビジネスを用いた計構をといる。関数を利用して作るなおものでは、まなスライドを扱い、ノート機能、リハナーマに合わせ、・ノート機能、リカサル・テーマに合わせ、・シートでは、シート	。 上げ練っ 大戦し ザー、仕 ぶじご 】 図機一 養子 大戦し せテ組 ぶめデ や能プ 基ット で、スト学 本を 表をプ 本州ゼ 知機 本州ゼ 知機 がが 画用じ	数イ ・シャイ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	漢練 川挿 用、 レ発し、 一下変	現力のあるなカオートフォー 計算機能を使 分析の方法を ランウます こ発表する	文書ファイルを作成で ーマット、表作成等を いデータファイルを 学ぶ を作成する 学ぶ	使いこなす		
成績評価 方法	授業理解度は課題作成 出席率、授業参加意欲も		<b>は験を総合評</b>	価で判断					
成績評価 基準	A:授業理解度 80%以上 B:授業理解度 70%以上 C:授業理解度 60%以上 D:授業理解度 60%未清	-、出席率 80 -、出席率 60	%以上、平常 %以上、平常	常点良 常点可					

#### 学生へのメッセージ

現代社会において、基本的なパソコン操作は必須スキルです。さまざまな企業で日常的にパソコンを使用して業務を行います。「スマートフォンの方が使いやすい」「スマートフォンなら文字を早く打てる」という意見もありますが、就職してから戸惑わないよう、前向きに学習してみましょう。

科目名	就職対策Ⅱ			科目区分	専門科目			
対象	観光科トラベルコース			授業形式	演習			
実施期	2年 前期	単位数	前期:2単位	時間数	前期 : 30 時間			
	中山 健也							
担当	実務経験:有・無							
授業概要	業界を目指す皆さんにとって、就職試験は大きな挑戦になります。 業界を受験する際に実際に行われている試験を行うことにより受験の準備をし、受験の流れや実際に行われてい る試験を体験することでより就職活動への意欲を高め、試験への準備を整えましょう。							
到達目標	会社の採用試験がどのような各会社からの求人が来た時							
検定資格	なし・ 必修・ 任意 へ	5称:						
教科書 教材	MY CAREER NOTE亚(ベネッ	/セi-キャリア)						
授業計画	【業界の入社試験について】 会社の試験がどのようなも 筆記試験・解説 志望動機・自己 PR 作成 【面接練習】 グループ、個人問わず採用 100%伝えられるよう取り約 【校内企業説明会】 企業の方から直接現場での また WEB や資料だけでは 【企業研究】 個人毎に受験する企業の研	のか理解をする 記載験で避けて通れだ 記む。 D業務内容や、一日の 判断しきれない細か	の流れを聞き、理解度を い部分も質疑応答にてſ	高める。				
成績評価 方法	小テストの点数(授業理解度	)と出席率、平常点の	うすべてにおいて基準を	満たすものを評価	とする。			
成績評価 基準	A:授業理解度 80%以上、出 B:授業理解度 60%以上、出 C:授業理解度 40%以上、出 D:授業理解度 40%未満、出	席率 80%以上、平 席率 60%以上、平	常点良 常点可					

### 学生へのメッセージ

希望業界での内定することで、自分の将来の生活ビジョンをより明確に描けるよう取り組んでいきますので、 他人事ではなく、自分事で一緒に授業をすすめていきましょう!

	T				1				
科目名	WEB 入門 II · III				科目区分	専門科目			
対象	観光科トラベルコース			T	授業形式	演習			
実施期	2年 前期・後期		単位数	前期 : 1 単位   後期 : 1 単位	時間数	前期 : 30 時間 後期 : 30 時間			
	立石 智之								
担当	実務経験 : 有・無								
授業概要	1 年次までの経験を活かし、集客という目的を達成するための Web 利用を学ぶ								
到達目標	選定した企業・自治体な	どの HP を∮	見ながら各自の	の目的に沿った動画・	資料・作品を作る。(約	紙媒体含む)			
検定資格	なし・必修・任意	名称:							
教科書 教材	なし								
授業計画	【資料・デザイン作成】 ・指定した題材に沿った ・指定した観光パンフレ ・自身で選定した観光が 【動画作成・SNS投稿】 ・指定した題材の動画 ・通年を通して SNS 投 【著作権について】 ・SNS 投稿時の注意点や	ッツトや観光: 地におけるが 作成、音楽の 活を行い集	地のオリジナ 公告の作成 の選曲等を通 客の難しさ、	ルガイドブックを作成 して Web 掲載を検討					
成績評価 方法	出席率、授業に臨む姿勢	専(平常点に	て記載)、評価	話試験から総合的に評	価します。				
成績評価 基準	A:授業理解度80%以上、出席率90%以上、平常点優 B:授業理解度70%以上、出席率80%以上、平常点良 C:授業理解度60%以上、出席率60%以上、平常点可 D:授業理解度60%未満、出席率60%未満、平常点不可								

学生へのメッセージ		

科目名	国内観光資源Ⅱ				科目区分	専門科目		
対象	観光科トラベルコース				授業形式	講義		
実施期	2年 前期		 単位数	前期 : 2 単位	時間数	前期:30時間		
大池初	松川 信也		十山双	마케·스푸匹	中可问致	ן וויין אין . נאנים ויאנים		
担当	実務経験: 有・無 元旅行添乗員(国内・海外)。旅行コンサルティング会社経営。総合旅行業務取扱管理者。							
授業概要	まず改めて日本国内の語 授業の後半では、地域語けながら「旅の楽しさ」を	別りですすめ	かた 1 年次の「	国内旅行地理Ⅰ・Ⅱ・	・Ⅲ」の知識を応用し、	旅行の流れを追いか		
到達目標	国内の主要輸送手段でる 国内観光地理の全国的							
検定資格	なし・ 必修・ 任意	名称:	日本·旅行地理	理検定(中級)				
教科書 教材	「国内観光資源」(JTB 砂 「旅に出たくなる地図・日							
授業計画	1. 日本の主要輸送手段 ①鉄道について ②航空機について 2. 紙上国内旅行を楽し ①北海道旅行 ②瀬戸内海旅行 ③九州旅行 他 それぞれについて、実際	む	想定した観光気	口識習得を行う。				
成績評価 方法	各パート終了に小テスト も実施し、期末試験、出				らは○点扱いとなるの	で注意。期末評価試験		
成績評価 基準	A:評価試験 80 点以上、 B:評価試験 60 点以上、 C:評価試験 40 点以上、 D:評価試験 40 点未満、	かつ かつ 出席	5率 60%以上、 5率 60%以上、	かつ 平常点良以上 かつ 平常点可以上				

#### 学生へのメッセージ

1 年次学んだ「国内旅行地理 I ~Ⅲ」とはやや観点を変え、実務上役に立つさまざまな国内観光トピックスを取り上げます。 楽しく学習しながら知識を深めましょう。

科目名	国内観光資源Ⅲ					科目区分	専門	科目
対象	観光科トラベルコース					授業形式	講義	
実施期	2年後期		単位数	後期	:2 単位	時間数	後期	:30 時間
	松川 信也							
担当	実務経験: 有・無 元添乗員。観光系の専門学校において旅行や国家試験対策の教鞭実務経験あり。							
授業概要	前期迄で国内の観光地情報を広く学習したので、当授業では、以下の2本立てで「旅を楽しむ手段」としての幅広い知識を身につける。  I・国内の旅を楽しむ応用材料として ①「日本の有名駅弁」…駅弁の楽しみ方と実際の有名駅弁を学習 ②「日本神話のふるさと」…古事記・日本書紀に出て来る出雲神話や日本創世神話をその舞台となった場所を近辺の観光地とともに学習 ③「日本のパワースポット」…勝負運、金運、縁結びなど、パワースポットと言われる場所をその近隣の観光地とともに学習  I・重要輸送手段である「航空」について、海外も含めた雑学的なもの、その他種々の知識を拡充する							
到達目標	上記3つの応用地理テ 内旅を楽しむ手段を身							
検定資格	なし							
教科書 教材	なし(プリント配布)							
授業計画	「マンガ古事記	されてい と 創世」 ~ !」 や D V I 以 な 可観光 ! パ ー ス 所 を 把 !	る地域の特性 「ヤマトタケ D を利用を把る る場か知識を習 ト」を「武運 をし、併せて	やル・しいでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	なども学習。 でのストーリーを理解。 果そこが観光地と。  重」「縁結び」の 光地も学習。	重々の知識習得	<b>一</b>	
成績評価 方法	各パート終了ごとに小テ も実施し、期末試験、出版				〜する。欠席の場合に	— <u>——</u> はO点扱いなの	で注意	。期末評価試験
成績評価 基準	A:評価試験 80 点以上、 B:評価試験 60 点以上、 C:評価試験 40 点以上、 D:評価試験 40 点未満、	かつ 出席 かつ 出席	率 60%以上、 率 60%以上、	かつ <sup>3</sup> かつ <sup>3</sup>	平常点良以上 平常点可以上			

#### 学生へのメッセージ

2年前期迄の個々の観光知識習得、とは観点を変え、実務上役に立つさまざまな国内観光トピックスを取り上げます。楽しく学習しながら知識を深めましょう。

				·			
科目名	海外観光資源Ⅱ・Ⅲ			科目区分	専門科目		
対象	観光科トラベルコース	1		授業形式	講義		
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期:2単位 後期:2単位	時間数	前期:30時間 後期:30時間		
	担当講師 石松						
担当	実務経験: 有・無 旅行業界	早にて国内外の	添乗員として 20 年の	実務経験あり。			
授業概要	目的:世界の主だった国と地域について、基本を理解する。「総合旅行業務取扱管理者」の受験に向けての、 <u>下地となる知識</u> の習得。 概要:すでに海外実務地理 I で基本を習得していることを前提とし、観光資源を国別・テーマ別等、視点を変えてさらに学習。 ※海外観光地理検定および総合旅行業務取扱管理者試験の合格を目的とした授業ではありません。 合格のためには、各自別途学習が必要です。内容および順番は変更になる場合があります。						
到達目標	主だった国と地域の観光の特性が 総合旅行取扱管理者試験受験の <sup>-</sup>		知識の習得。				
検定資格	なし・ 必修・ 任意 名称:						
教科書 教材	海外観光資源(JTB 総合研究所) 1 年次に購入済 旅に出たくなる地図 世界(帝国書院) 1 年次に購入済 適宜プリント配布						
授業計画	【 アジア各論 】 韓国 / 中国本土 / 台湾 / ネシンガポール / インドネシア / 【 ヨーロッパ各論 】 英国 / フランス / スペイン / 【 中東・アフリカ各論】 トルコ / エジプト / 宗教 / ぞ【 オセアニア各論 】 オーストラリア / ハワイ / グラ【 北米各論 】 アメリカ合衆国 / カナダ 【 中南米各論 】 メキシコ / ペルー【 期末試験と解説 】 期末試験と解説 各期 2 時間ずつ	プィリピ ン/ / オーストリア そのた アム・サイパン / チリ / ご	´ インド / ネパール / ドイツ / イタリ				
成績評価 方法	評価試験、出席率、授業態度、意名	次(小テストは意	意欲に含まれる)				
成績評価 基準	A:評価試験 80点以上、かた B:評価試験 60点以上、また C:評価試験 40点以上、また D:評価試験 40点未満、また	とは出席率 70 とは出席率 60	%以上、または平常 %以上、または平常	点良点 可			

#### 学生へのメッセージ

職業として旅行を扱うには、当然ながら世界の地理についての基本的な知識は必須です。世界は広い!そして面白い!

위 다 A	<b>活布中改工 =</b>					1	<b>本明刊</b> 口
科目名 対象	添乗実務 I・Ⅱ   観光科トラベルコース					科目区分 授業形式	専門科目 演習
	1,000 0 1,11 0		11 str	前期:2単			演音   前期 : 30 時間
実施期	2年 前期・後期		単位数	後期:2単		時間数	後期 : 30 時間
	株式会社旅行綜研 担当	<b>詳師</b>					
担当	実務経験:有・無	旅行業界にて	添乗員実	ミ務経験あり。			
授業概要	【前期;国内】アクシデントやイレギュラーな事態が起こった時などにスムーズに現地で対応できるには、まず業務の基本を理解し頭に入れておくことが必要です。ツアーコンダクターとして行うべき業務はもちろん、それがなぜ必要な業務なのか意味を理解しながら学びます。  【後期;海外】前期で学んだ国内添乗業務から、海外へ仕事の舞台を広げていくうえで必要となる様々な基礎知識の習得と基本業務の流れを学びます。 海外添乗においては、言葉や文化の違いから、よりお客様に寄り添った接客が必要となります。国内旅行とは異なるツアーコンダクターに対する要望や期待に応えられるよう、幅広い知識の習得に努めます。						
到達目標	   国内、海外ツア―コンダ 	゚クターとしての゙゙	業務知識	の習得と基本的	的な業務の流	れを理解する。	
検定資格	なし・ 必修・ 任意	名称:					
教科書 教材	旅程管理研修教本(日本	、添乗サービス†	協会)				
授業計画	添乗業務 I 【国内】 ・添乗員の役割とお客様 ・業界用語を覚える ・クーポン券の種類 ・関係機関への予約確認 ・バス合場所で成 ・集スタンバイと ・バス自は呼の重要性 ・食事場所での重要性 ・食事場がもまかいでのです。 ・オプ泊業務の流れ ・AIR業務の流れ ・AIR業務の流れ ・地での ・オリアー報告書の作成と	忍とお客様への <sup>3</sup> 受付 ○誘導 ○方法	事前確認	・業事 ・事海 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ で 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	乗と を覚調 大さで でなる。 では では でいる。 では でいる。 では でいる。 では でいる。 でい。 でいる。 で	通貨、チップ、「 読み方 とそれぞれの研 業務〜出国へ国 (は、別での が、での での 発表での と での を で の を で の に に い に い に い に い に の に い に の に の に の	ー) 時差、気候、度量衡) 筆認と対客電話) 替乗~機内) トプショナルツアー)
成績評価 方法	【国内・海外共通】小テス	トと期末テスト	こよる筆詞	記試験と出席率	と平常点の総	合評価。	
成績評価 基準	A:授業内評価試験 80 B:授業内評価試験 60 C:授業内評価試験 40 D:授業内評価試験 40	点以上、出席率 点以上、出席率	₹ 80%以上 160%以上	、平常点良 、平常点可			

#### 学生へのメッセージ

ツアーコンダクターの仕事は裏方仕事でお客様からはなかなか見えにくい業務ですが、大事な業務を担っています。 この授業でどのような業務を行っているかぜひ学んでください。

				•		
科目名	旅行英語 Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目	
対象	観光科トラベルコース			授業形式	講義	
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期 : 1単位   後期 : 1単位	時間数	前期 : 15 時間   後期 : 15 時間	
	担当講師 石松					
担当	実務経験:有・無	旅行業界にて国内外の	)添乗員として 20 年の	実務経験あり。		
授業概要	目的: 旅行業界に就業するにあたっての知識の習得。総合旅行業務取扱管理者受験のための、 <u>基礎知識</u> の習得。 概要: 旅行業界で使用される文書(条件書、約款等)や、旅行の現場で目にする文書(告知等)を取り上げ、読解力 を高める。業界で頻出する表現を学ぶ。 ※総合旅行業務取扱管理者試験の合格を目的とした授業ではありません。 合格のためには別途学習が必要です。					
到達目標	   平易な文章であれば、す	英文の条件書等の内容を	正確に読み取ることが	できる。		
検定資格	なし・ 必修・ 任意	名称:				
教科 <del>書</del> 教材	適宜プリント配布					
授業計画	【 長文読解 】 Brochure を読む /	、単語やフレーズを学ぶ 新幹線の荷物の規則(身 合件書 / クルーズの lt	ミ文)/ ユーレイルパ		・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
成績評価 方法	小テスト、評価試験、出版	<b>常率、授業態度、意欲</b>				
成績評価 基準	A:評価試験 80 点以上、 B:評価試験 60 点以上、 C:評価試験 40 点以上、 D:評価試験 40 点未満、	または出席率 70%以上 または出席率 60%以上	、または平常点良 、または平常点可			

### 学生へのメッセージ

業務上必要となる英語を習得しましょう。時には難しい英文にも当たりますが、コツコツー緒に学びましょう!

7.1 E 5	T = _				445-2	+001.10		
科目名	Travel English II • III				科目区分	専門科目		
対象	観光科トラベルコース	T		T	授業形式	演習		
実施期	2年 前期・後期		単位数	前期 : 1 単位   後期 : 1 単位	時間数	前期 : 15 時間 後期 : 15 時間		
	Robert							
担当	実務経験 : 有・無							
授業概要	旅行業界で添乗員として働く際に遭遇する場面での「仕事で使えるフレーズ」を覚えることを目的とします。2 年次の前期は空港到着からホテルチェックインまで、後期はレストラン、観光地、そしてホテルチェックアウトでの英語を習得します。シンプルなキーセンテンスを応用して使えるように、会話、リスニング、アクティビティを通して反復練習をしていきます。							
到達目標	テキスト Travel English II 来る。	とⅢの Cor	nversation を問	音記し、添乗員のパー	トを、テキストを見なし	いで会話することが出		
検定資格	なし・ 必修・ 任意	名称:						
教科書 教材	オリジナルテキスト							
授業計画	【空港で使う英語】 ・手荷物の破損/紛失 ・紛失手荷物の対応(別) 【ホテルで使う英語(チェ・ホテルチェックイン・オテル所在地の確認・団体チェックイン・客室でのトラブル・客室アメニティの補充 【復習/会話テスト】・復習 ・1 人ずつ会話テストを事	ックイン)】 『時刻の連絡	各	【レストランで使う英語・団体予約の確認・メニューの確認・アレルギー対・支払い・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・	認 チェックアウト)】 寺刻の確認 -ム			
成績評価 方法	評価試験は会話テストを	実施し、出	席率•授業態原	度と総合して評価しま	す。			
成績評価 基準	A:評価試験 80 点以上、 B:評価試験 60 点以上、 C:評価試験 50 点以上、 D:評価試験 50 点未満、	出席率 809 出席率 609	6以上、平常点 6以上、平常点	点良 点可				

<del>~~</del> ~	_	,		• •
学生へ	(I)	メい	<del>7</del> 7-	<b>-</b> ` ∕
<b>一</b> 一	~	,,	_	_

科目名	English Communication I · II			科目区分	専門科目		
対象	観光科トラベルコース			授業形式	演習		
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期 : 1 単位 後期 : 1 単位	時間数	前期 : 15 時間 後期 : 15 時間		
	Mark	I		<b>"</b>			
担当	実務経験:有・無						
授業概要	Students will improve their English communication skills with a variety of conversation, speaking and activity-based classes with a native English teacher.						
到達目標	Students will become used to be able to use in future at wo			learn a variety of Er	nglish skills that they will		
検定資格	なU · 必修 · 任意 〈	<b>吕称</b> :					
教科書 教材	Stretch Starter Student Book	κ (Oxford)					
授業計画	前期 - Meeting people - Countries & nationalitie - Family - Describing people - Food & drinks - Things we do  後期 - At home - Free time activities - Popular sports - Big events - Plans - On vacation	S					
成績評価 方法	下記評価基準に準じて決定	する					
成績評価 基準	A:評価試験(理解度)80%以 B:評価試験(理解度)60%以 C:評価試験(理解度)30%以 D:評価試験(理解度)30%オ	人上、出席率 65%以上 人上、出席率 60%以上	:、平常点 良 :、平常点 可				

学生へのメッセージ		

7.1 E 5	#D 14 = -			ı	7. D = 0	+00110			
科目名	観光実務Ⅱ・Ⅲ				科目区分	専門科目			
対象	観光科トラベルコース		前期:3単位	\ <del>\</del>	授業形式	講義 前期 : 45 時間			
実施期	2年 前期・後期	単位数	後期:2単		時間数	後期 : 30 時間			
	立石 智之								
担当	実務経験 : 有・無 旅行業界にて実務経験あり。セールスや内勤、コールセンター等で9年経験。								
授業概要	観光業界において必要な、様々な知識を養う。 レジャーや各地の特産などを勉強したうえで、どのように提供するかを考える								
到達目標	自信をもって人に観光資源(歴史・生活・文化・食事など)を紹介できるようにする								
検定資格	なし・ 必修・ 任意	名称:							
教科書 教材	「国内観光資源」(JTB 研究所) 「海外観光資源」(JTB 研究所) ※その他、適宜プリントを使用する								
授業計画	【インバウンド業務】 ・インバウンドの現状を把握する ・訪日外国人旅行者数の推移 ・実際の行程や観光コース、ショッピングの状況 ・外国の外国人旅行者数と訪日外国人旅行者数の比較 ・どんな場所が人気なのか ・グループワークで訪日ツアーを考える(ツアー作成) 【知識の習得】 ・クルーズ:国内・海外のさまざまクルーズ船についてどのような違いがあるかを学ぶ ・レンタカー:車の基本的な種類を覚える。また、保険などのカバーされるものなどについて学ぶ								
成績評価 方法	   期末テストの点数(授業	理解度)と出席率、平常	点のすべてにお	いて基準を満	たすものを評	価とする。			
成績評価 基準	A:授業理解度プレゼン評価 80 点以上、出席率 90%以上、平常点優 B:授業理解度プレゼン評価 60 点以上、出席率 80%以上、平常点良 C:授業理解度プレゼン評価 40 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D:授業理解度プレゼン評価 40 点未満、出席率 60%未満、平常点不可								

#### 学生へのメッセージ

科目名	観光プランニングⅡ・Ⅲ			科目区分	専門科目				
対象	観光科トラベルコース			授業形式	演習				
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期 : 2単位 後期 : 2単位	時間数	前期: 35 時間 後期: 30 時間				
	立石智之								
担当	実務経験:   有・無 立石:旅行業界にて実務経験あり。セールスや内勤、コールセンター等で9年経験。								
授業概要	昨今の観光とは、ただ「旅行に行く」だけではなくなっています。 お客様毎に達成したい目的を観光業に携わる観点から考察し「どのようにしたらお客様に喜んでもらえるか」 でうすればお客様に選ばれるか」を考えながら様々なイベントを企画します。 また各観光地を題材にしたイベント等にも参加し、お客様から見た視点を養い、改善点や問題点を見つけ どのようにすれば改善できるかをグループワークを用いて学習します。								
到達目標	プランニングの基礎を用いて、自分達の旅行計画や他の人に向けての計画を作成する 実際に各地のイベントを参考にしながら新しいイベントの企画立案や企画書の作成を行い グループワークを中心としながら、様々な視野を持ってお客様に対応できるよう学習する								
検定資格	なし・必修・任意	名称:							
教科 <del>書</del> 教材	なし								
授業計画	授業の概要説明と進めた。 テーマ作成に当たっての ツアープランニングの補 グループ分け、ツアーテ 打合せ内容を基にツアー 決定したツアーテーマで 各グループのプレゼント パワーポイントの作成、 プレゼンシミュレーション 各グループに分かれて、 また実際に各地のイベングループ内で、意見をだ 発表用パワーポイント作	)注意 に記明、ツアー作成のデーマ仮決定、意見交換等 ーマの決定、意見交換等 ーテーマの最終決定 の行程表作成 内容の検討、再構成 企画発表準備 、資料作成 イベントを体験・作成する いトに参加し、事前の問題 にあい資料を作成。	会議		^発見をみつける。				
成績評価 方法	期末試験・プレゼン評価	等を対象として、出席率	、平常点の総合点数につ	て評価する					
成績評価 基準	A:授業理解度プレゼン B:授業理解度プレゼン C:授業理解度プレゼン D:授業理解度プレゼン	評価 60 点以上、出席率 評価 40 点以上、出席率	80%以上、平常点良 60%以上、平常点可	Γ					

#### 学生へのメッセージ

科目名	接客手話Ⅰ・Ⅱ				科目区分	専門科目			
対象	観光科トラベルコース				授業形式	演習			
実施期	2年 前期・後期		単位数	前期 : 1 単位 後期 : 1 単位	時間数	前期 : 15 時間 後期 : 15 時間			
	飯塚 佳代								
担当	実務経験: 有・無	手話通訴	士						
授業概要	ユニバーサルサービスとして接客における手話を身に着ける。指文字と手話技能検定 6・5 級の単語学習を中心に 概要 おこなう。また、聴覚障がいをお持ちのお客様に対して手話でコミュニケーションがとれるようロールプレイなどを 行う。								
到達目標	標 1年次においては手話検定5級レベルを目指す。								
検定資格	なし・ 必修・ 任意	名称:	手話技能検定	5級					
教科書 教材	手話技能検定公式テキスト5・6・7級(日本能率協会マネジメントセンター)								
授業計画	【日常生活で必要な基本 あいさつ・天候・疑問・参 【日常生活で必要な基本 食べ物・動物・スポーツ 【日常生活で必要な基本 日常会話や接客手話を 【聴覚障害概要の学習】 手話とは・聴覚障害者・ 方法・合理的配慮・手話	や字・日になる を学習Ⅱ】 ・趣味・乗りを学習Ⅲ】 を学習Ⅲ】	5・時間・家族・     リ物・形容詞・持           また検定対策       電害者数・身体	客手話などを学習すんに向けて過去問題の で でま者手帳(身体障害	る。 学習を行う。 『者等級)・聴覚障害者				
成績評価 方法	授業内におこなう実技証	験と期末記	<b>式験、出席率、</b> :	授業態度を総合的に診	平価します。				
成績評価 基準	A: 評価試験 80 点以上、 B: 評価試験 60 点以上、 C: 評価試験 40 点以上、 D: 評価試験 40 点未満、	出席率 70 出席率 60	%以上、平常, %以上、平常,	点良 点可					

学生への	سلا	
ニーハハ	メバノエノー	-·/

科目名	プレゼン技法			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルコース			授業形式	演習
実施期	2年 前期	単位数	前期:1単位	時間数	前期:15時間
\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	立石 智之	<del>-</del>	110701 . 1 — 12	F-11F13X	[14][4] . 10 44[4]
担当	実務経験:有・無				
授業概要	どのような業界においても自分 様々な題材を用いてプレゼンの				
到達目標	目的に沿った効果的なプレゼン	テーションを体系	的に学び実践できるよう	こする。	
検定資格	なし・ 必修・ 任意 名称	<b>T</b> :			
教科書 教材	なし				
授業計画	【プレゼンテーション概要】 ・プレゼンテーションの概要説 【資料作成について】 ・7つのポイント(フォント、改作 【プレゼンテーションの基本構成 ・プレゼンテーションの流れ( ・プレゼンテーションの失敗と 【練習と実践】 ・話し方と聞きやすさ ・プレゼンテーションの実践	テと行間、太字色( な】 序論・本論・結論/	付けなど)		
成績評価 方法	出席率、授業に臨む姿勢(平常	点にて記載)、評(	<b>亜試験から総合的に評価</b> し	します。	
成績評価 基準	A:授業理解度80%以上、出席B:授業理解度70%以上、出席C:授業理解度60%以上、出席D:授業理解度60%未満、出席	率 80%以上、平 率 60%以上、平	常点良 常点可		

#### 学生へのメッセージ

これからの時代は効果的、かつ確実に自分のアイデアや考えを伝える力が必要になってきます。人に的確に伝えられるプレゼン力をつけるべく、一緒に学んでいきましょう。

科目名	海外旅行実務				科目区分	専門科目		
対象	観光科トラベルコース				授業形式	講義		
実施期	2年前期		単位数	前期 : 2 単位	時間数	前期: 30 時間		
大心物			干山奴	时初 . 4 年世	时间数	时初 . 50 时间		
担当	立石 智之 実務経験 : 有・無	旅行業界	にて実務経験の	あり。セールスや内	勤、コールセンター等	で9年経験。		
授業概要	海外旅行に必要な出入国法令の知識、ならびに海外旅行実務(時差の計算、航空会社や鉄道、ホテル、食事など)の海外事情や知識を習得します。 また、実際にお客様を添乗するときに必要な業務やトラブルの対処方法なども学びます。 旅行会社及び関連業界で働く上で役立つ裏話で盛り上りましょう!							
到達目標	旅行業務関連の仕事に 文化の異なる国々に興							
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意		総合旅行業務団	<b>取扱管理者</b>				
教科書 教材	なし ※適宜プリントを配布							
授業計画	予防接種: 予防接種の 査証手続: 査証の種類 外貨手続: 外国為替及 ホテル: ホテルの種類 その他: ホテルやレス 上記の知識習得。	、取り扱 なび外国貿 で特徴・	い、免除プロ 易法 料金設定、客	室の設備・位置・		<b>食</b>		
成績評価 方法	期末テストの点数(授業	理解度)とは	出席率、平常点	のすべてにおいて	基準を満たすものを評	価とする。		
成績評価 基準	A:授業理解度プレゼン B:授業理解度プレゼン C:授業理解度プレゼン D:授業理解度プレゼン	評価 60 点 評価 40 点	以上、出席率 以上、出席率	80%以上、平常点 60%以上、平常点可	<u>.</u> J			

*** -1 -		
学生への	メッカー	ーベン

					1				
科目名	社会人準備講座			科目区分	専門科目				
対象	観光科トラベルコース			授業形式	演習				
実施期	2年後期	単位数	後期: 1単位	時間数	後期: 30 時間				
	立石 智之								
担当	実務経験: 有・無								
授業概要	これから社会人として活躍する 言葉遣いについて学びます。 社会に出て恥ずかしい思いをし				常識やマナー、				
到達目標	社会人として求められる最低限	の常識、マナ	-ーや言葉遣いを実証	浅できることを目標	とする				
検定資格	なし・必修・任意 名称:								
教科書 教材	なし 適宜プリントを使用する								
授業計画	【社会人としての心構え 基本マナ・社会人と学生の違いを考える・新卒で働く意義とは・あいさつ 仕事に対する姿勢・周囲とのコミュニケーション SNS 【社会人としての常識】・出社から退社まで・身だしなみ・電話の対応(かけ方、出方、出方、【社会人としての言葉遣い、社交文・丁寧語、尊敬語、謙譲語の使・ビジネス文書の書き方、ビジネス文書の書き方、ビジネス文書の書き方、ビジネス文書の書き方、ビジネス文書の書き方、ビジネス文書の書き方、ビジーは金についての基本情報】・お金を稼ぐ、使う、貯める・税金について、円/ドル相場と株【福利厚生について】・社会保険と制度、持ち株制度など	取りつぎ方、 (章) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で	切り方)	使うビジネス用語					
成績評価 方法	期末テストの点数(授業理解度)と	出席率、平常点	 でのすべてにおいて基	準を満たすものを評	 価とする。				
成績評価 基準	A:授業理解度80%以上、出席率90%以上、平常点優 B:授業理解度60%以上、出席率80%以上、平常点良 C:授業理解度40%以上、出席率60%以上、平常点可 D:授業理解度40%未満、出席率60%未満、平常点不可								

#### 学生へのメッセージ